

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	白井市こども発達センター		
○保護者評価実施期間	令和7年11月6日		～ 令和7年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	86名	(回答者数) 65名
○従業者評価実施期間	令和7年11月6日		～ 令和7年12月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 18名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・発達段階に合わせた療育の提供。	・発達段階を考慮したグループの編成をし、お子さんの発達段階に合わせた療育内容を提供しています。 ・多職種と連携を図りながら支援を行っています。	・日々の支援について振り返りを行い、多職種と連携しながら必要な支援について検討を行っていきます。
2	・保護者支援	・療育終了後に、保護者に対してフィードバックする時間を確保しています。 ・保護者同士が交流できる機会や、講演会の開催など、保護者向けの情報発信の機会を設けています。	・保護者のニーズを確認しながら、より良い保護者支援について検討していきます。
3	・施設環境が整っている。	・生活空間が、お子さんにとってわかりやすいように構造化されています。お子さんの特性などに合わせて、環境調整を行っています。 ・療育内容ごとに部屋が分かれているなど、十分なスペースが確保されています。	・お子さんの発達特性などに応じて、環境調整を行っていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・情報発信について	・電子媒体での情報発信も取り入れているが、紙媒体での情報発信なども多いです。	・利用者の意見などを参考にしながら、情報発信方法について検討していきます。
2	・地域とのつながり	・近隣に幼児が利用する施設が少なく、同年齢との交流の機会が持ちにくいです。 ・保育園や幼稚園と併用している児童が多いです。	・利用者の意見なども参考にしながら、地域との交流の機会について検討していきます。
3			